

海野隆

議会報告

〒300-1152 阿見町荒川本郷 1343 番地 197

いつでもお電話下さい。出られない時はこちらから連絡します。



携帯：090-1548-5294

sougousenryaku@gmail.com

VOL 3 / No 7

〈討議資料〉

災害は忘れない内にやってくる

元旦に能登半島地震が発生し1月15日現在で死亡者222人、重軽傷者1025名、行方不明者22名、避難者は1万6742名という大きな自然災害が発生しました。日本は地震大国でありどこに住んでいても逃れることは出来ないことを忘れてはなりません。

日頃の備えが大事です。家屋の耐震化や家具の固定化・非常用備蓄品などの自助努力への補助新設を提言しています。行政区や自治会単位での防災訓練に参加し地区防災計画を進めましょう。

これまでの防災計画や避難所などの対応も全面的に見直すよう取り組みます。

未来創造都市・阿見をめざして

2年後に阿見市は誕生します。もう直ぐです。皆様と力を合わせ、新しいまちの未来を創造する仕事を引き続いて担う決意です。ご支援とご理解をお願い申し上げます。町の主役は町民です。



阿見町の大問題その2

●こども政策を最重点で行うこと

阿見町の人口増加は、若い世代の転入によって支えられています。阿見町が発展を続けるためには子育て世代への強力な支援と「こども政策」の取り組みが必要です。地域経済が活性化し全世代に利益がある政策が「こども政策」です。

- ・所得制限なしの1歳までのおむつ支給
- ・所得制限を付けない給食費の全面無償化
- ・全天候型温水プールで年間通じた水泳授業
- ・不登校児のフリースクールの整備
- ・奨学金返済補助条件の大幅緩和

●文化や歴史、芸術に親しめる政策・歴史民俗資料館の整備

阿見町の子ども達が他の市町村に行かないで阿見の歴史を学ぶことが出来るよう歴史民俗資料館の整備を提言し続けています。阿見町には残すべき貴重な歴史・文化遺産がたくさんあります。

●活力を生み出す政策・圏央道牛久阿見インター周辺の開発

茨城県と連携して圏央道のポテンシャルを活用し雇用や税収を図りバランスの取れたまちをつくるため取り組みます。

出発点にこども政策

私も提言しています。行政トップが決断すれば直ぐに実現します。

1歳までオムツの無料配布



紙オムツを家庭へ配送。家計負担の軽減を行います。種類も赤ちゃんに最適なオムツを届けます。

小・中学校の給食費全面無償化

小・中学校の給食費を全面無償化し、子育て世代の家計負担を減らします。



住み続けられる政策

安心して住み続けるために重要で必要な政策に取り組みます。

空き家対策とその利活用



阿見町は空家対策で他の自治体に大きく立ち遅れています。空き家のリニューアルと利活用を図り、地域の安全安心と人口増を図ります。

デマンドタクシー料金の減額と新交通システムの導入

運転免許自主返納後の買物や通院、趣味の会など地域の社会活動が大きく制約される不安を解消します。



海野隆のプロフィール



- ◆那珂市生まれ、水戸一高・立命館大学卒業。茨城県労働金庫、帝国データバンク、医療法人の事務長、阿見町参与など。防災士。
- ◆2012年阿見町議会議員に当選、以降、産業建設常任委員長や総務常任委員長・予算特別委員長・議会改革特別委員、広域消防議会議員など。すべての議会で一般質問・質疑を行っています。
- ◆ホームページやブログ、フェイスブック、X（ツイッター）、インスタグラム、YouTubeの動画配信などで議員活動を発信しています。
- ◆議会外では、茨城れいわの会、日本地域資源学会、国際交流協会、阿見観光ガイドなどで活動中です。



●議会の裏話! 裏話! 一般質問や質疑は手間と時間がかかります

議員になれば一般質問や質疑を行い町民の要望や意見を町政に届けるのが仕事だと思っていました。議会は年4回です。全ての議会で一般質問や質疑討論を行いました。

一般質問も質疑も討論も手間がかかります。事前の調査や執行部との打ち合わせ、事後の議会だより原稿の作成や校正など、相当の時間を費やします。

それでも皆様からお聞きした要望や意見を町政に届け反映することが出来る喜びは議員冥利に尽きます。発言しなければチェックも提言も出来ません。一般質問する議員が少ないなあと・・・